



2019.2.8
第168号

発行

福島県市町村
教育委員会
連絡会
北会津
耶麻沼
両支会

編集

福島県教育庁
会津教育事務所

編集協力

小・中学校長会

そんなつもりはなかった



会津教育事務所域内三支会連絡会

会長 一ノ瀬 美枝

私は、年に数回小中学校でいじめ防止のための授業を行っています。子どもたちに具体的ないじめの例をあげてもらおうと、集団での暴言暴力、無視といった答えが返ってきます。そこで、「一対一だといじめになる?」「それが小六と小四だとうなる?」「好きな子について嫌がらせしちゃうのはどう?」「あだ名で呼んでいたけれど実は呼ばれている子が嫌だと思っていたらどう?」などと問いかけます。子どもたちは迷いながらも答えを出そうとします。「自分がいじめたかと思っていなくても、相手からすればいじめられたと思

うことがある。」それだけで子どもたちは驚いたような反応を示します。さて、大人はどうでしょうか。パワハラ、セクハラなどのハラスメント行為、ときには犯罪行為において、「そんなつもりはなかった」という抗弁がなされま

た」という人もいます。確かに個々の権利意識はより高く、権利主張はより強くなつたかもしれません。しかし、時代が変わつたから問題となるように変わつたのでしょうか。単に顕在化していなかっただけで、もとから問題行為だったのではないのでしょうか。

場面や立場、人も変われば、相手の受け方は当然に変わってきます。自分が思っているように相手も受け取ってくれるはず、理解してくれるはずなどと、自分に都合のいいように解釈していきませんか。では、なぜ行き違いが起こるのでしょうか。

自分の言動に責任をもつことはできますか。自分の言動を他人がどう思うか、という視点をもつことだけでも違ってくるのではないのでしょうか。

「そんなつもりはなかった」は単なる言い訳です。法的責任を回避することは出来ません。

各種受賞紹介 (敬称略)

□文部科学大臣表彰

- 地方教育行政功労者表彰
前会津美里町教育委員会教育長 佐治 和則
- 学校保健及び学校安全表彰
喜多方市立第一小学校 学校薬剤師 星 陽子
- 学校給食表彰(共同調理場)
喜多方市熱塩加納学校給食共同調理場
- キャリア教育優良校表彰
福島県立西会津高等学校
昭和村立昭和中学校
- 「地域学校協働活動」推進に係る表彰
西会津町地域学校協働本部(西会津町)
- 社会教育功労者表彰
会津坂下町 佐藤 房枝
- 優秀教職員
磐梯町立磐梯中学校 養護教諭 佐藤 明美

□県教育委員会表彰

- 地方教育行政功労者
前喜多方市教育委員会教育長 芳賀 忠夫
- 学校教育功労者
福島県立会津高等学校長 山内 正之
- 社会教育関係功労者
喜多方市社会教育指導員 高橋 明子
- 社会教育功労団体
磐梯町立磐梯第一小学校父母と教師の会
レディースニューライフ(会津美里町)
- 社会教育功労施設
会津若松市生涯学習総合センター
猪苗代町図書館歴史情報館
- 学校保健功労者
喜多方市立塩川小学校 栄養教諭 長嶺恵美子

○へき地教育関係功績者

- 猪苗代町立翁島小学校 校長 星 善樹
- 会津若松市立大戸中学校 校長 馬場 勇
- 優秀教職員
喜多方市立塩川小学校 教諭 五ノ井達也
喜多方市立塩川中学校 教諭 橋谷田 亨
会津美里町立高田中学校 教諭 横山 永哉
- 特別功績者「児童生徒(団体)の部」
猪苗代町立猪苗代中学校 男子バドミントン部
(富岡町立富岡第一中学校 男子バドミントン部)
猪苗代町立猪苗代中学校 女子バドミントン部
(富岡町立富岡第一中学校 女子バドミントン部)
- 福島県教職員研究論文奨励賞
喜多方市立塩川小学校

□県学校関係緑化コンクール

- 《学校林等活動の部》
- 知事賞・福島民報新聞社社長賞
会津若松市立湊小学校
- 教育長賞
会津若松市立川南小学校
- 《学校環境緑化の部》
- 知事賞・福島民友新聞社社長賞
会津若松市立大戸小学校
- 教育長賞
磐梯町立磐梯第一小学校
- 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会会長賞
会津若松市立湊小学校
- 福島県森林組合連合会会長賞
会津若松市立川南小学校
- 奨励賞
三島町立三島小学校

□県学校歯科保健優良校表彰

- 最優秀賞
喜多方市立第一小学校
- 優秀賞
磐梯町立磐梯第二小学校
喜多方市立松山小学校
喜多方市立上三宮小学校
喜多方市立熊倉小学校
湯川村立笈川小学校
湯川村立勝常小学校
- 努力賞
会津若松市立河東学園小学校
喜多方市立豊川小学校
磐梯町立磐梯中学校
福島県立坂下高等学校
- 奨励賞
柳津町立柳津小学校
会津美里町立高田中学校

□県学校給食会優良団体・功績者表彰

- 優良団体
会津若松市立城北小学校
- 功労者
会津若松市立一箕小学校 栄養教諭 二瓶美智子

□ふくしまっ子ごはんコンテスト(学校賞)

- 会津若松市立一箕小学校
喜多方市立塩川小学校
会津若松市立一箕中学校
猪苗代町立吾妻中学校
会津美里町立新鶴中学校

総務社会教育課だより ～社会教育関係事業の紹介～

1 ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト

情報発信プロジェクト「高校生によるビブリオバトル福島県大会会津地区予選会」

- (1) 目的 高校生が様々な分野の本に触れる機会を通して、読書の楽しさを知り自ら進んで読書に親しむきっかけをつくとともに、望ましい読書習慣の形成に寄与することを旨とする。
- (2) 日時 平成30年9月29日(土) 13:00～15:30
- (3) 会場 会津大学
- (4) ルール
 - ① 発表者がおもしろいと思った本を持って集まる。
 - ② 順番に1人5分間で本を紹介する。
 - ③ それぞれの発表後に参加者全員でその発表に関する質問を2分間で行う。
 - ④ すべての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなかったか」を基準とした投票を行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。



※チャンプ本：坂下高校2年 五十嵐珠鈴さんが紹介した「君を愛したひとりの僕へ」
 ※準チャンプ本：喜多方桐桜高校3年 小檜山帆波さんが紹介した「四畳半神話体系」

2 地域でつながる家庭教育応援事業 家庭教育応援プロジェクト「会津地区フォローアップ研修会」

- (1) 目的 家庭教育に関わる地域の課題や子どもたちを受け止める家庭環境づくりについて研鑽を深め、地域で子育てをする家庭教育支援者の実践力を高める。
- (2) 日時 平成30年12月5日(水) 10:00～15:30
- (3) 内容
 - ① 講話Ⅰ 「SNS等に起因する犯罪から子ども達を守るために」
 講師：福島県会津若松警察署生活安全課 専門少年警察補導員 大竹 民江 様
 - ② 講話Ⅱ 「家庭教育支援チーム“もも”はじめのいっば」
 講師：喜多方市家庭教育支援チーム“もも” 代表 幸田久美子 様
 - ③ 講演 「子の心を育む親子の絆～心豊かに生きる4つの条件」
 講師：親業訓練シニアインストラクター 大屋 弘子 様



「学びのスタンダード推進事業」の取組について

今年度で2年目を迎えた「学びのスタンダード推進事業」は、より質の高い授業や効果的な家庭学習の実践と教員の指導力の向上を目的に、会津若松市立第一中学校区、喜多方市立第二中学校区の2地区で推進されています。両地区ともに、パイロット校を中心に、授業の充実・改善や、家庭学習の充実などを目指して研究・実践を進めてきました。

今年度は、新たに「家庭学習スタンダード」の活用促進が加味され、推進地区ごとに小・中学校が連携を図りながら研究・実践してきました。

今年度の公開授業研究会は、次のような日程、教科等で実施しました。

①	会津若松市立第一中学校	11/ 8(木)	数学・英語
②	会津若松市立城北小学校	11/ 2(金)	算数
③	喜多方市立第二中学校	11/27(火)	数学・英語
④	喜多方市立第一小学校	11/ 9(金)	外国語活動

研究会当日は、「授業スタンダード」を活用した授業が公開され、全体会では中学校でのタテ持ち(一人の教

員が複数学年を担当する)や、小学校での教科担任制などについての実践報告がなされました。また、「家庭学習スタンダード」を基に自校の「学習の手引き」を作成した実践や、中学校の定期テストに合わせて、中学校区で家庭学習強化週間を設定した実践などが発表されました。

次年度は最終年度になります。一層充実が図れるように事業を推進したいと思います。

結びに、御多用のなか研究を推進していただいた校長先生をはじめ諸先生方、御協力いただいた皆様に御礼申し上げます。



喜多方一小公開での授業風景



城北小公開での授業風景

「この一年」



会津美里町教育委員会教育長 新田 銀一

県立高校の教員として37年間勤めた。退職後7年目の昨年4月より、会津美里町の教育長として勤めている。

市町村の教育長は主に保育所・幼稚園と小・中学校、及び社会教育に係る職務内容のため、県立高校では経験したことがない場面もあり、学ぶことが多い毎日である。

まずは、現場を知ることが大切と考え、保育所・幼稚園と小・中学校の訪問を通して、また、公民館行事等に参加させていただく中で、少しでも理解を深めようと努めてきた。お陰でこの10ヶ月、幼児と児童、生徒の活動に接し、指導される先生方と話し合い、地域住民の方々と触れ合う中で沢山のことを教えていただくことができた。

特に、保育所・幼稚園と小・中学校では、生活面や学習面のどれをとっても丁寧に細かい指導がなされており、まさに、「三つ子の魂百までも」の通りと実感する。幼い時期の教育について、家庭・地域・学校の連携の大切さを今更ながらに痛感しているところである。基礎とな

る細やかな指導が確固たる基盤となっているからこそ、高校教育で学力向上やキャリア教育の充実を目指すことができる。

さて、会津美里町は国宝1件、国指定10件、県指定18件、町指定87件の合計116件の文化財の宝庫であり、「歴史と文化の町」と謳って、各種文化活動が盛んに行われている。その中で、「会津三十三巡り」は番外を含めて11ヶ所が会津美里町にある。また、全国三田植祭りにも数えられる「御田植祭」やあやめ苑で有名な伊佐須美神社がある。

今、会津美里町も少子高齢化による人口減少により、10校あった小学校が今現在4校となっている。少子高齢化・人口減少にともなう課題は多く、会津美里町の全体の課題を整理し、具体的方策を模索しているところである。

幼児・児童・生徒と地域の方々がここ会津美里町で「学ぶこと」の喜びを得て、「笑顔溢れるこの町が好き」と言える教育を目指して力を尽くして行きたいと思うこの頃である。

我がまちからの情報発信

西会津町教育委員会

「西会津かるた」で故郷愛を育む

みなさん、子供達には、自分が住んでいる町の歴史や文化を、どのようにして教えていますか。学校では、自分たちの町を知るため、社会科や生活科の授業などで、商店や工場、消防署、公民館など私たちの生活を支える施設を巡ることや、有名な文化財を見学するなどをしていますよね。

しかし、それだけでは、広い町の事をつぶさに知ることはできませんよね。町の中には、意外と知られていませんが、歴史的な碑や隠れた文化財、名勝などがあるものです。また、これらのことを家庭や地域のみなさんの力をお借りして学習するのも限界があるでしょう。

そこで、西会津町では、町の歴史や文化、自然などを子供達に伝えるひとつの方法として、「西会津かるた」というカルタを楽しむ事で、伝えようと試んでいます。

このカルタは、「あ」から「ん」までの五十音順に、歴史、文化、自然の様子や内容が書かれた札を読み札にし、その絵札を取るというものです。絵札の後ろには、解説が詳しくわかりやすく書かれていて、興味を持った人は、さらに詳しく学習することもできるというものです。

このカルタを使用した「かるた大会」は、この2月に開催を予定しています。子供達は、札を取るため、カル

タの内容を一生懸命に覚えます。カルタをする事で、楽しみながら町の歴史や文化、自然を知ることができ、それが子供達の故郷愛に繋がってくればと、大いに期待をしています。

皆さんの町でも、意外と知られていない故郷の歴史などがあると思います。ちょっとした工夫で、子供達にそれを楽しく伝える事ができる取り組みの一例として、「西会津かるた」を紹介しました。



作品と指導

工作

『すてきな小物入れ』



会津若松市立城北小学校
4年 大川原 莉姫

「ギコギコクリエイター」という題材で、初めてのこぎりを使用しました。はじめはこわがっていたようですが、やっていくうちにきれいに切れるようになりました。くぎを打って物が入るスペースも作りました。何を入れるか、考えているようです。

指導者 江花 敬子

絵画

『朝の町』



金山町立金山小学校
6年 伊藤 花奈

奥行きが感じられるような場所を選ばせ、遠近感を表現できるように、線の方向や色の濃淡に気をつけて描くよう助言しました。また、影になっているところも工夫して描かせることで、高学年らしい作品に仕上がりました。

指導者 棚木 孝

習字

『流れる雲』



柳津町立会津柳津学園中学校
3年 目黒 玲奈

行書に調和する仮名を意識して、丁寧な筆づかいで書いています。また、完成した作品をイメージしながら文字の大きさや配置を考えて書くことで、全体のバランスに優れた作品に仕上がっています。

指導者 山田 雄一

私の抱負

教頭初任研のこの年を



三島町立三島小学校
教頭 松澤 勝浩

ある学習会で「管理職に必要なことはなんだと思いますか。」と問われたことがあります。私はその時「人間性です。」と答えたことを覚えています。

確かに風通しの良い職場づくりには人間性の大切さを感じますが、いざ教頭職について思うことはそれだけではなく、職務に対する高いスキルとマネジメント力が求められるということです。

本校は指導力のあるベテランの先生方がそろっています。私は、校長先生をはじめ先生方、そして素直な子ども達に助けられていると感じることがたくさんあります。

まだまだ未熟ですが、教頭初任研の今年を積極的に学ぶ年ととらえ、子ども達のために、先生方のために日々研鑽に励んでいきたいと思えます。

スタート地点に立って



福島県立耶麻農業高等学校
教諭 木幡 由香

まだ雪の残る四月、今までは違ったドキドキとワクワクを胸に、耶麻農業高校へ着任しました。

本校では、校内での活動にとどまらず、ボランティア活動や地域の行事等に参加するなど、地域との交流にも積極的に取り組んでいます。さまざまなところで活躍している生徒の姿を見てみると、教員としてのやりがいを感じるとともに、生徒たちを一人の社会人として送り出すという、教員としての責任の重さも痛感します。

着任してもうすぐ一年が経ちます。この一年を通して、まだまだ学ばべきことがたくさんあることを感じました。これまでに学んだことを活かしながら、日々、自己研鑽に努めていきたいと思えます。

感謝の心を大切に



磐梯町立磐梯第一小学校
栄養教諭 鈴木 絵利子

栄養教諭として食育を推進するにあたり、多くの人に支えられていることを改めて実感しています。食に関する指導を共に進めてくださる先生方、食育の取組に協力してくださる保護者の方、学校給食に地場産物が使えるようにと力を貸してくださる地域の方、そして何よりも明るく元気で、目標に向かって精一杯努力する子どもたち。そんな子どもたちが正しく食を選択する力を身に付け、生涯にわたって心身ともに健康でいられるように、学校給食をもとに食育を推進したいと考えています。そして栄養教諭として学び、成長するために努力していきたいと思えます。

支えてくださる方への感謝の気持ち大切に、学校給食の充実に尽くしていきたいです。